

第 1 回桑名市行政改革推進委員会 会議概要

日時・場所	<p>平成25年8月27日（火） 15：10～16：20</p> <p>桑名市役所本庁舎 3階 第2会議室</p>
出席者	<p>委員：8名</p> <p>市：3名</p> <p>事務局：5名</p>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 市長あいさつ 2 委員自己紹介 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員長及び副委員長の互選について (2) 現在までの行政改革の取組みについて【資料 No. 1】 (3) 行政改革推進委員会について【資料 No. 2】 (4) 第3次行政改革大綱の進捗状況について【資料 No. 3】 (5) 新行政改革大綱の策定について【資料 No. 4】 4 その他
概 要 (主な意見)	<ol style="list-style-type: none"> 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員長及び副委員長の互選について <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員長に丸山康人委員、副委員長に吉島隆子委員が選任された。 (2) 現在までの行政改革の取組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見等なし (3) 行政改革推進委員会について <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見等なし (4) 第3次行政改革大綱の進捗状況について <ul style="list-style-type: none"> ・ 第3次行政改革大綱（チャレンジプラン2010）に対する市長の評価はどうか。 ・ これまでは行政改革大綱や総合計画、市民満足度調査がどのようにリンクしているのか分かりにくかった。今後の計画策定においては、物差しを統一することが重要なポイントとなる。総合計画審議会の議論や満足度調査の活用を注目したい。 ・ 市民満足度調査の中では、今後、重点を置く行政改革の取組み項目として、「行政サービスの向上」「積極的な情報公開」「職員の能力向上と適正配置」などが上位になっている。この中で、「行政サービスの向上」に関する取組みが弱いので、次期行政改革大綱では重点を置いてほしい。 ・ 行政改革が必要な原因である「景気低迷の長期化」「少子高齢化」「ニーズの多様化・高度化」「地方分権の進展」について、桑名市の意見や状況を教えてほしい。 ・ 次回の委員会では類似団体の財政指標等を用い、桑名市の状況が説明できる資料を準備してほしい。 ・ 市民満足度調査では「税金の使途」について市民ニーズが高いが、広報をすれば、すぐ分かることである。今後は、プランの中に入れてから取り組むのではなく、今できることから一つずつ問題を解決すれば、市民の評価も変わると思う。

	<p>(5) 新行政改革大綱の策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合計画策定の職員体制が、階層別となっている。市長の下が、ワーキンググループといった大胆な発想でやらないと、意識改革ができないと思う。若い職員がもっている大胆なアイデアを取り上げる手法がないと難しいのではないか。 ・ 民間企業の中には、部課長制を廃止し、プロジェクトリーダー制にするなど組織の風土変化を行っているところがある。庁内の風土改革について、どのように取組むのか。また、組織を変えても、人が変わらなければ意味がないので、人を変えられるような行政改革が重要である。 ・ 桑名市は、自然面や経済面など他地域と比べて、豊かで、子どもが3人いるケースが多い気がする。次期計画でも「子どもを3人育てられるまち」は、スローガンになり、市民にとっても分かりやすい。そのための施策を計画した方が良いと思う。 ・ 体系図にある単位施策の下の基本事業や事務事業も見直しを行うのか。 ・ 防災面は、行政ができることは限られている。市民自身が心がけなければならないことも上手くPRし、自分自身で身を守ることも組み入れていただきたい。
<p>担 当 課</p>	<p>市長公室 政策経営課</p>